

一宮市立市民病院整形外科に通院中または過去に通院された患者さんまたはご家族の方へリハビリテーション室における臨床研究に御協力をお願いいたします。

現在、大腿骨近位部骨折術後患者における機能的予後予測因子の検討に関する臨床研究を実施しております。（この研究は当院の臨床研究審査小委員会の審査・承認を得て調査を行っています。）

このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	大腿骨近位部骨折術後患者における機能的予後予測因子の検討
所属（診療科）	一宮市立市民病院 リハビリテーション室
研究責任者（職名）	中島 宏樹（理学療法士）
研究実施期間	令和 6 年 3 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日
研究の意義・目的	本研究では、大腿骨近位部骨折術後患者を対象に患者特性や手術に関する情報、術後の機能評価を含めた経過に関する情報を調査し、転帰や歩行獲得、日常生活動作に影響する因子を検討することを目的とします。 術前または術後早期の情報から歩行再獲得や退院先を予測できれば、治療計画を立てる際の指針となり、リハビリテーションの質を高める取り組みにつながる可能性があります。
対象となる患者さん	当院に大腿骨近位部骨折（大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折）で入院し手術を受けられた 65 歳以上の患者さん
利用するカルテ情報	カルテから年齢、性別、BMI、受傷前歩行能力、骨折型（大腿骨頸部骨折/大腿骨転子部骨折）、既往歴、術式、手術待機期間、入院時の採血データ、認知機能検査結果、握力、非術側の下腿最大周囲長、術後 1 日目の採血データ、術後 1 日目の立位保持の可否、術後 3 日間の移動能力等を調査します。
研究方法	病院内電子カルテおよび大腿骨近位部骨折地域連携パスよりデータ収集することで行う後ろ向き観察研究です。
問い合わせ先	窓口：リハビリテーション室 中島 宏樹（理学療法士） 電話番号：0586-71-1911（内線：2040）

既存の臨床記録（カルテ記録）、検査結果を研究・調査・集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

カルテ情報の利用に同意をお願いいたします。

利用する情報からは、患者さんを直接特定できる個人情報を削除研究します。

研究成果は今後医学の発展に役立つように学会発表・論文投稿等に用いますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

この研究に御自身の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。